

マーケティング論

マーケティングというメガネをかけて世の中を眺めてみると、今まで気づけなかった現実が浮かび上がってきます。本講義では、そうした「気づき」のいくつかを紹介します。マーケティングというドアをノックして、その向こう側を少しだけ覗いてみませんか？

消費から世界を変える ～エシカル消費という考え方



私たちが食べるチョコレートの原料をつくっているのは発展途上国の子どもたちで、その平均寿命は20歳くらいだと言われています。こうした状況に対して、我々消費者は何ができるのか、考えてみましょう。

コンビニのビジネスモデルの進化と今後の課題



日本のコンビニの成功原因を分析する際に、必ずそのビジネスモデルの卓越性が取り上げられます。本講義では、コンビニのビジネスモデルが絶えず環境変化に適応・進化したことを説明しますが、同時に今後の発展のために取り入れるべき課題についてもふれます。

はじめてのグローバル・マーケティング



今日、マーケティング活動は国境を越えてグローバルに展開されています。しかし、ここにはさまざまな苦労や課題が待ちかまえています。本講義ではわかりやすく、皆さんにとって身近な例を取り上げながら、どうやって海外で商品を買ったらよいのかという問題を考えます。

租税論の初歩

租税制度のとらえ方や考え方の初歩的なレベルを講じます。本学での講義の中から話題として関心の高そうなものをピックアップして取り上げます。

貨幣の機能

貨幣とは何か。貨幣は私たちの社会においてどのような役割を果たしているのか。本講義では、これらの点を中心に説明します。まず、貨幣が私たちに何をしてくれるのかを考えます。次に、私たちが現在使っている貨幣は、どのような歴史を経て今日の姿になったのかを概観します。最後に、さまざまな貨幣の定義を紹介します。

お金について考えよう －高校生のための金融リテラシー入門－



高校生の皆さんが、社会に出たり、大学に入学するにあたって、どのようにお金と付き合っていけばいいのかを考えていきます。お金を貯めたり、使ったりすることは皆さん自身のライフプランにも関わってきます。一緒にマネーとの付き合いを考えてみましょう。

日本企業における女性の活躍

政治経済

少子高齢化により深刻化する労働力不足を補うため女性の活躍推進が求められています。日本企業における女性の活躍状況と今後の課題について考えます。

税についてもっと知ろう



私たちは、インターネットで海外音楽の配信サービスを利用したり、海外サイトから買い物をしたり、グローバルな経済取引を容易に行うことができます。これに対して、どのような課税がなされるのでしょうか。その仕組みについてお話しします。

人生のリスクを考える



人は生きていくうえで、さまざまなリスク(病気、けが、早死、長生き、介護、失業、財産損害など)に直面します。これらのリスクを完全に避けることはできません。リスクに対処して被害を少なくするためには、どのような手段があるのかについて講義します。

非伝統的金融政策下での経済変数の動き

1990年代前半に、日本経済は資産価格バブルの崩壊により、長い不況を経験することとなりました。本講義では、1990年代後半からの日本経済に対して、日本銀行が行った政策により、どのような影響が生じたかを、マクロ経済変数の動きから読み解いていきます。

株価はどう決まるのか？－証券市場と株式の役割－

株価はなぜ、どのようにして決まるのだろうか？また、その変動は何に影響を与えるのだろうか？本講義では、株価の形成についてケースをいくつか挙げながら、企業金融と証券市場、株式の役割を考えます。

アジアの経済成長と日系企業： 日本企業グローバル化の課題と展望



日本を代表する大企業の多くが、海外、特に成長著しいアジア市場で多くの収益をあげていることをご存じですか。日系企業は、これまで国際化に消極的と言われてきましたが、国内経済が停滞する中、企業経営の国際化は急務です。空洞化論争もふまえて、日系企業グローバル化の課題と展望を皆で考えていきましょう。

英字新聞で読む日本経済グローバル化の課題



日本企業、日本経済はますますグローバル経済との結びつきを強めています。「Financial Times」、「New York Times」など海外の一流新聞では日本経済のグローバル化をどう報道しているのでしょうか？高校までの英語力を使って英字新聞にチャレンジし、日本経済グローバル化の現状と課題を検証していきます。

身近なSDGs： 私たちに何ができるか



皆さんもSDGs(持続可能な開発目標)という言葉を知ったことがありますよね。先進国、途上国、政府、企業、個人に関わらず、今、世界がこの達成を目指しています。本講義では、これまでのSDGsの取り組み事例を紹介しつつ、私たちができるSDGsへの貢献を皆で議論していきます。

(高校生のための)金融リテラシー入門

家庭科・政経・公共



金融リテラシーとは、経済、金融に関する知識や判断力のことです。将来、お金と上手につき合っていくためには、年金、保険、資産運用、NISAやiDeCoなどの仕組みや役割を理解しておくことが必要です。本講義では、金融リテラシーを学ぶことの意義と重要性を、初學者にもわかりやすく説明していきます。

言語とコミュニケーションの パターン

2年生以上



本講義では、コミュニケーションにおいて強い影響力のある言葉は、聞き手だけでなく、話し手にも影響を与えうることを学びます。ビジネスの場で使用する言語が変わると、コミュニケーションの仕方も変わるのか、という問いについて共に考えましょう。

地域貿易協定について

政治経済



世界的に拡大している自由貿易協定(FTA)や他の貿易協定について解説します。

航空産業と観光の将来



激動期の国際航空業界について論じます。コロナで航空会社の経営が様変わりした他、LCCの成長、国際空港の経営改革など、昨今のホットな業界の現状と課題について、問題提起します。

Question box in action

皆さんの英語に関する質問についてドンドン答えていきます。

旅するオレンジジュース：国際ビジネスとの出会い

日頃なにげなく飲んでいるオレンジジュースは、今や国際ビジネスなくしては考えられなくなっています。紙パッケージを観察することから出発して、オレンジジュースの貿易・国際物流・国際技術移転・国際投資にふれることで、国際ビジネスへの関心を高めます。

カードゲーム「2030 SDGs」



カードゲーム「2030 SDGs」はSDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験し、「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」、そして「それがあってによってどのような変化や可能性があるのか」を理解するゲームです。そのためSDGsという言葉を知ったことがない人やあまり興味関心がない人でもゲームが持つとっつきやすさとおもしろさで知らず知らずのうちに熱中し、楽しみながらSDGsの本質を理解することができます。【実施には3時間以上必要】

貿易ゲーム



「貿易」を中心に、世界経済の動きを疑似体験することによって、そこに存在するさまざまな問題について学び、その解決の道について考えることを目的としたシミュレーションゲームです。自由貿易の基本的な仕組みについて学び、考える機会を持つことができるよう構成されています。【実施には3時間以上必要】

グローバリゼーション下の先進国と 発展途上国の経済関係



グローバリゼーションの進展により、経済をはじめ先進国と途上国の関係性はますます強まっています。先進国に住む私たちの日々の営みは、発展途上国の人々とのように繋がっているのでしょうか。グローバリゼーション下で発展途上国が抱える貧困など諸問題についても考察します。(9月～3月出講不可)

イノベーションについて少しだけ考えてみる

2年生 情報

イノベーションについて考えます。

電気自動車が経済と暮らしを変える



電気自動車が普及することで、私たちの社会は大きく変わります。経済面では企業活動が、市場面では私たちの移動生活が変わっていきます。そのような実態を見てみましょう。

みんなが持つべきアントレプレナーシップ

これからの世の中は大きく変わります。我々も変わらないといけません。方向性が分からず困っている人が多いと思います。本講義ではアントレプレナーシップを軸にしてその方向性を一緒に考えていきます。

「人によってちがう」を科学する

いわゆる“お客さん”と呼ばれる私たち消費者は、それぞれが持つその人特有の価値観によって、モノやサービスや他の人を選んでいきます。本講義は、その「人によってちがう」価値観を知ることによって、世の中をはっきりと把握することを目指します。

経営組織とマネジメント



経営組織とマネジメントについての基礎知識、それらを学ぶことの意義と楽しさを伝えます。

なぜあの会社は好調なのか？

—生活の中で目にする「ブランド」の不思議を、小売業から考えよう！—

皆さんの生活の中で、欠かせない企業や商品・サービスとは何ですか？なぜ、あのお店で、つい買ってこれ買ってしまうのでしょうか？日常シーンで目にする「企業ブランド」や「商品ブランド」の中で、好調な小売業ブランドに注目して、その謎を一緒に解明しましょう。

マーケティングを科学するとは？



本講義では、マーケティングを科学的に実践するための「マーケティング・サイエンス」に関する講義を行います。講義ではマーケティングの定義から入り、特定の製品に対する消費者需要の予測までを取り扱います。

会計情報の役立ち



会計を知り、会計情報を活用できるようになれば、どのようなことに役立つのかを説明します。会計情報の利用者には、投資家、経営者、従業員、国・地方自治体などが考えられますが、それぞれの利用者にとって、会計情報がどのように役立つのかを具体的に説明します。

SDGsとビジネス

最近、スーツ姿でカラフルなバッジをつけている人を見かけたことはないですか？そのバッジはSDGs(持続可能な開発目標)のロゴであり、2030年までに達成を目指す17の目標です。SDGsは国・自治体のみならず、企業でも積極的に取り組んでいます。なぜ、企業はSDGsに取り組む必要があるのでしょうか？一緒に考えていきましょう！

会計が促進するサステナビリティ経営 2年生以上



会計という「経理」や「簿記」が思い浮かぶかもしれませんが。しかし、実は会計は、気候変動への対応や働き方改革を含めた「サステナビリティ経営」を実現するための戦略的な意思決定や業績評価にも役立っています。

会計基準が企業に与える影響

政治経済

企業の取引を数値化し、最終的に財務諸表で表示するための会計基準は、企業の経営に少なからぬ影響を与えます。それゆえ、会計基準のあり方が問われることとなります。この問題を、新聞記事などを参考にして考えます。

組合せ最適化問題に対するアプローチ

組合せ最適化問題とは、解が組合せ的な構造を持つ問題のことです。組合せ最適化問題は現実社会にも存在しますが、その多くは厳密解を求めることが難しいと言われています。本講義では、難解な組合せ最適化に対するさまざまなアプローチ方法を紹介しします。

はじめてのCSR



皆さんは、CSRという言葉聞いたことがあるでしょうか？企業の社会的責任という意味ですが、もはや企業活動そのものといっても過言ではありません。本講義では、CSRについて、高校生向けにわかりやすく解説します。

ものづくりの気になるおカネ

—コスト意識をもった賢い消費者になる方法—



最近、コンビニやスーパーなどで売っているモノが工場でのように作られているか、というテレビ番組が人気です。そこで、モノが工場で作られ、お店、私たちに届くまでにかかったコスト、モノの値段に注目し、コスト意識を持った賢い消費者になるための方法をわかりやすく講義します。

財務諸表分析の基礎

3年生

企業が公表する会計情報の読み方を学びます。

〈4月～9月出講不可〉

会社の仕組みと成績表

3年生

以下を題材に会計学を易しく紹介します。
 ・会社はどのようにお金を集めて経営を行っているのか
 ・株主とはどのような人で、株主総会は何をするためにあるのか
 ・会社の情報はどのように入手でき、どのような情報を得ることができるのか
 ・会社の成績表はどのような形で報告されているのか

〈9月～3月出講不可〉

会計と私たちの生活



会計情報を提供する財務諸表の入手方法を簡単に紹介し、それぞれの財務表の構造と内容を講義します。特に、貸借対照表と損益計算書を取り上げ、更に、利益数値が私たちの生活にどのような影響を及ぼしているのかを明らかにします。

社会インパクト会計と公認会計士



会社が利益をあげても、環境破壊や従業員の給料が増えない問題があります。SDGsの流れの中、社会や環境へのインパクトを会計と統合することがグローバルに試みられています。公認会計士としての経験を踏まえて、新しい会計の動きを紹介します。

商(あきな)いがうまくいってるとは？



ある企業が儲けを生みつつ順調に活動しているならば、その企業の生み出す製品やサービスが、多くの人から感謝され評価されることとなります。儲けのことを利益と言います。500年前から世界的に用いられてきた、利益の計算方法とその源について見てみます。